

平成 29 年 1 月 5 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ス カ ラ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 椰 野 憲 克  
( 東 証 一 部 ・ コ ー ド 4 8 4 5 )  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 木 下 朝 太 郎  
( T E L 0 3 - 6 4 1 8 - 3 9 6 0 )

## ソフトブレン株式会社に対する役員選任についての株主提案に関するお知らせ

当社は、ソフトブレン株式会社（以下、「ソフトブレン」）に対し、同社の 13,400,000 株（発行済株式総数の 43.29%、総議決権数の 45.57%（平成 28 年 7 月 14 日現在））の普通株式を直接または間接に保有する筆頭株主として、平成 29 年 3 月に開催予定の同社の第 25 期定時株主総会に係る株主提案権の行使に関する書面（別紙参照）を平成 28 年 12 月 26 日付で提出いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 役員選任についての株主提案権行使書の内容

##### (1) 株主総会の目的事項

第 1 取締役 6 名選任の件

第 2 監査役 2 名選任の件

##### (2) 議案の要領および提案の理由等

第 1 取締役 6 名選任の件

###### (a) 議案の要領

田村健三氏、椰野憲克氏、木下朝太郎氏、新田英明氏、呉裕紀氏および渡辺昇一氏をソフトブレンの取締役に選任する。

###### (b) 提案の理由

ソフトブレンの企業価値の更なる向上を図るためには、その前提として、充実したコーポレート・ガバナンス体制および内部統制システムを構築した上で、ソフトブレンの各事業分野における価値の創造を最大限効率化し、ソフトブレンの各事業の本源的・潜在的価値を十分に引き出す必要があると考えられます。

そのため、ソフトブレンの各事業分野に関連する多種多様な専門的知見や経験を

有する取締役を新たにソフトブレン経営陣に参加させ、各人の資質に裏打ちされた視点をソフトブレンの事業活動に反映させることで、真にソフトブレンの企業価値ひいてはソフトブレンの株主、従業員、顧客、債権者等全てのステークホルダーの皆様の利益に資する経営判断を行うことができる体制を整えることが、上記の目的を達成する最善の方法であると考えております。

上記の取締役候補者は、いずれもそれぞれの専門分野において卓越した専門的知見と豊富な経験を有しており、ソフトブレンの企業価値の更なる向上を図る上で最適な人材であると確信しております。

## 第2 監査役2名選任の件

### (a) 議案の要領

相田武夫氏および水戸部賢治氏をソフトブレン監査役に選任する。

### (b) 提案の理由

ソフトブレンの企業価値の更なる向上を図るためには、その前提として、充実したコーポレート・ガバナンス体制および内部統制システムを構築した上で、ソフトブレンの各事業分野における価値の創造を最大限効率化し、ソフトブレンの各事業の本源的・潜在的価値を十分に引き出す必要があると考えられます。

そのため、コーポレート・ガバナンスおよび企業コンプライアンスに造詣が深い監査役を選任することが、上記の目的を達成する最善の方法であると考えております。

上記の監査役候補者は、いずれもそれぞれの専門分野において卓越した専門的知見と豊富な経験を有しており、ソフトブレンのコーポレート・ガバナンス体制および内部統制システムを更なる強化を図る上で最適な人材であると確信しております。

当社は、ソフトブレングループの企業価値を最大化するため、一体となって迅速な経営判断を行うことができる体制を整え、両社の持つ豊富な顧客資産、技術力および実績を有効活用することにスピード感をもって検討・実施できるよう、尽力していく所存です。

以 上

【別紙】

平成28年12月26日

〒104-0028  
東京都中央区八重洲二丁目3番1号  
住友信託銀行八重洲ビル9階  
ソフトブレーン株式会社  
代表取締役社長 豊田 浩文 様

〒100-8124  
東京都千代田区大手町一丁目1番2号  
大手門タワー  
西村あさひ法律事務所  
電 話 03-6250-6200  
FAX 03-6250-7200  
株式会社スカラ（旧商号：株式会社  
フュージョンパートナー）代理人  
弁護士 野田 昌毅  
弁護士 辰巳 郁  
弁護士 松本 周  
弁護士 吉田 雄飛

### 株主提案権行使書

株式会社スカラは、ソフトブレーン株式会社（以下「貴社」といいます。）の総株主の議決権の100分の1以上かつ300個以上の議決権を6か月以上前から引き続き有する株主として、会社法第303条第2項の規定に基づき、下記1.に記載する議題（以下「本件議題」といいます。）を、平成29年3月開催予定の貴社第25期定時株主総会における株主総会の目的とすることを、本書をもって請求するとともに、本件議題について下記2.に記載する議案を提出いたしますので、同法第305条第1項及び会社法施行規則第93条の規定に基づき、当該議案の要領及び提案の理由等を株主に通知することを、本書をもって請求いたします。

記

#### 1. 株主総会の目的事項

- 第1 取締役6名選任の件
- 第2 監査役2名選任の件

## 2. 議案の要領及び提案の理由等

- 第1 取締役6名選任の件

### (1) 議案の要領

田村健三氏、棚野憲克氏、木下朝太郎氏、新田英明氏、呉裕紀氏及び渡辺昇一氏を貴社取締役を選任する。

### (2) 提案の理由

貴社の企業価値の更なる向上を図るためには、その前提として、充実したコーポレート・ガバナンス体制及び内部統制システムを構築した上で、貴社の各事業分野における価値の創造を最大限効率化し、貴社の各事業の本源的・潜在的価値を十分に引き出す必要があると考えられます。

そのため、貴社の各事業分野に関連する多種多様な専門的知見や経験を有する取締役を新たに貴社経営陣に参加させ、各人の資質に裏打ちされた視点を貴社の事業活動に反映させることで、真に貴社の企業価値ひいては貴社の株主、従業員、顧客、債権者等全てのステークホルダーの皆様の利益に資する経営判断を行うことができる体制を整えることが、上記の目的を達成する最善の方法であると考えております。

上記の取締役候補者は、いずれもそれぞれの専門分野において卓越した専門的知見と豊富な経験を有しており、貴社の企業価値の更なる向上を図る上で最適な人材であると確信しております。

### (3) 候補者の氏名、略歴等

候補者番号 1

(氏名)

田村 健三 (たむら けんぞう)

(生年月日)

昭和23年3月2日生

(略歴等)

昭和46年4月 三井情報開発 (株)

昭和54年4月 岡三証券 (株)

昭和59年6月 同社自由が丘支店長  
昭和62年9月 同社虎ノ門支店長  
平成2年3月 同社池袋支店長  
平成3年12月 (株)フュージョンパートナー(現(株)スカラ)代表取締役社長  
平成12年7月 同社代表取締役会長  
平成17年9月 同社取締役退任  
平成20年9月 同社代表取締役社長  
平成25年8月 同社代表取締役会長(現任)

(所有する貴社株式の数)

なし

候補者番号 2

(氏名)

椰野 憲克(なぎの のりかつ)

(生年月日)

昭和50年1月6日生

(略歴等)

平成12年1月 (株)ディーベックス取締役

平成16年3月 東京工業大学大学院 総合理工学研究科 知能システム科学専攻  
博士課程修了

平成17年1月 (株)ディーベックス代表取締役社長

平成18年6月 デジアナコミュニケーションズ(株)(現(株)スカラコミュニ  
ケーションズ)取締役

平成21年9月 (株)フュージョンパートナー(現(株)スカラ)取締役

平成22年12月 (株)ニューズウォッチ代表取締役社長

平成24年4月 デジアナコミュニケーションズ(株)(現(株)スカラコミュニ  
ケーションズ)代表取締役CEO

平成25年8月 (株)フュージョンパートナー(現(株)スカラ)代表取締役社長  
(現任)

(所有する貴社株式の数)

なし

候補者番号 3

(氏名)

木下 朝太郎(きのした あさたろう)

(生年月日)

昭和42年9月25日生

(略歴等)

平成4年4月 岡三証券(株)  
平成8年9月 岡三ファイナンス(株)  
平成10年9月 (株)フュージョンパートナー(現(株)スカラ)企画室  
平成14年9月 同社取締役経営企画室長  
平成17年7月 同社代表取締役社長  
平成18年9月 同社取締役  
平成23年12月 デジアナコミュニケーションズ(株)(現(株)スカラコミュニケーションズ)代表取締役  
平成24年4月 同社取締役会長  
平成25年8月 (株)フュージョンパートナー(現(株)スカラ)常務取締役(現任)

(所有する貴社株式の数)

なし

候補者番号 4

(氏名)

新田 英明(にった ひであき)

(生年月日)

昭和50年4月15日生

(略歴等)

平成10年4月 (株)ザピック  
平成19年6月 デジアナコミュニケーションズ(株)(現(株)スカラコミュニケーションズ)  
平成22年12月 同社営業部長  
平成23年12月 同社取締役(現任)  
平成27年9月 (株)フュージョンパートナー(現(株)スカラ)取締役(現任)

(所有する貴社株式の数)

なし

候補者番号 5

(氏名)

呉 裕紀(くれ ゆうき)

(生年月日)

昭和52年2月17日生

(略歴等)

平成15年3月 小澄税理士事務所入所

平成19年3月 (株)フュージョンパートナー(現(株)スカラ)入社  
平成23年7月 同社経理部長  
平成25年8月 同社経営管理本部長  
平成27年10月 デジアナコミュニケーションズ(株)(現(株)スカラコミュニケーションズ)取締役(現任)

(所有する貴社株式の数)

なし

候補者番号 6

(氏名)

渡辺 昇一(わたなべ しょういち)

(生年月日)

昭和37年5月23日生

(略歴等)

平成元年4月 住友電気工業(株)

平成5年4月 弁護士登録

三好総合法律事務所

平成15年4月 高久・渡辺法律事務所(現ライツ法律特許事務所)開設(現任)

平成19年9月 (株)フュージョンパートナー(現(株)スカラ)監査役

平成25年9月 同社取締役(現任)

(所有する貴社株式の数)

なし

なお、全ての取締役候補者より、貴社取締役就任の内諾を得ております。

## 第2 監査役2名選任の件

### (1) 議案の要領

相田武夫氏及び水戸部賢治氏を貴社監査役に選任する。

### (2) 提案の理由

貴社の企業価値の更なる向上を図るためには、その前提として、充実したコーポレート・ガバナンス体制及び内部統制システムを構築した上で、貴社の各事業分野における価値の創造を最大限効率化し、貴社の各事業の本源的・潜在的価値を十分に引き出す必要があると考えられます。

そのため、コーポレート・ガバナンス及び企業コンプライアンスに造詣が深い監査役を選任することが、上記の目的を達成する最善の方法であると考えております。

上記の監査役候補者は、いずれもそれぞれの専門分野において卓越した専門的知見と豊富な経験を有しており、貴社のコーポレート・ガバナンス体制及び内部統制システムを更なる強化を図る上で最適な人材であると確信しております。

(3) 候補者の氏名、略歴等

候補者番号 1

(氏名)

相田 武夫 (あいだ たけお)

(生年月日)

昭和30年2月7日生

(略歴等)

昭和53年4月 岡三証券(株)

平成13年2月 (株)フュージョンパートナー(現(株)スカラ) 管理部長

平成19年9月 同社監査役

平成23年9月 同社監査役退任

平成24年7月 データベース・コミュニケーションズ(株) 取締役副社長

平成25年9月 (株)フュージョンパートナー(現(株)スカラ) 監査役(現任)

(所有する貴社株式の数)

なし

候補者番号 2

(氏名)

水戸部 賢治 (みとべ けんじ)

(生年月日)

昭和33年4月15日生

(略歴等)

平成元年2月 税理士登録

水戸部税理士事務所開設

平成2年5月 防衛庁調達実施本部非常勤講師

平成3年6月 東京税理士会麻布支部事務局長

平成12年11月 (株)フュージョンパートナー(現(株)スカラ) 監査役

平成19年9月 同社取締役

平成23年12月 (株)AMF コンサルタンツ代表取締役(現任)

(所有する貴社株式の数)



なし

なお、全ての監査役候補者より、貴社監査役就任の内諾を得ております。

以 上